

# 本庄南ロータリークラブ



率先しよう

## 会報

例会日 毎火曜日 19:00~20:00  
例会場 埼玉グランドホテル本庄 五州園(最終火曜日)  
事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-0041 本庄市駅南2 2 1  
Tel: 0495 23 0143 / Fax: 0495 23 0141  
E-mail: rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 長沼 章      クラブ会報担当/担当長 木村 真純/副担当長 阿奈 靖雄  
幹事 飯塚 能成      /委員 堀口 宏之・金井 一俊

### 第598回例会(公式訪問) 8月22日(火) 発行 平成17年8月29日

- 司会/奈良橋 秋夫SAA
- 点鐘/19時00分 長沼 章会長
- ソング/それでこそロータリー
- ゲスト/鈴木 勲二様(RI第2570地区ガバナー)  
田部井 荘様(第4グループガバナー補佐)

RRRRR RRRRRRRRRRR RRRRR RRRRRRRRRRR

#### 会長挨拶

長沼 章会長



親睦と奉仕の関係、親睦のロータリーにおける位置付けについて考えます。FELLOWSHIPを親睦と訳した事により、親睦がひとり歩きし、奉仕との関係はつじつまが合わなくなっているようです。仲間作りと訳す、と言われる鈴木ガバナーの明解さにより、整合性が見えてきました。

「ニュージーランド人とオーストラリア人は、ほかに類のない関係にあるのです。両国はスポーツの分野では激しいライバル関係にあり、どちらの国も相手国にスポーツで勝てば大喜びします。ビジネスや政治でも同じことが言えます。しかし、お互いに見せかけでない敬意を払っていますし、何かあったときにはいつでも互いに助け合う関係にあります。互いに学び、考えや資源を共有し、共通のプログラムを一緒に実施しています。タスマン海を越えていつも人的交流を行う仲間なのですから」(ロータリーの友 7月号 P.15 より)

少しわかる様な気がしませんか?

#### 幹事報告

飯塚 能成幹事



回覧物の報告

#### 委員会報告

小松 政敏社会奉仕委員長



行事予定連絡

1.8月26日(土) 16:00から納涼祭  
(グループホーム五感の里)

2.9月24日(日) 14:30から  
北村英治チャリティーコンサート

みなさんの参加をよろしくお願いします。

#### 卓話

鈴木 勲二ガバナー



「ロータリーは親睦と奉仕の中に宿る。」と100年前にポール・ハリスは唱え、「開発」と「継承」の連鎖のもとに発展し、今年は「第2世紀の第2年目」を迎えました。

よく節目の年を迎えると「初心に還れ。」とか、「原理・原則・原点を忘れるな」と言われますが、では、ロータリーの原点とはどこにあるのでしょうか。

シカゴにあるポールの弁護士事務所の壁には、彼の大好きなエマーソンの詩が額に掛けてありましたが、そこには(英文で)

「千人の友人を持っている人と言えども、一人として失っていいと思われる友はいないものだ。」と、書かれていました。

ポールは、「私には千人の友どころか、一人の友もない。」と悲しげに認めた。と、ディビットC. フォワード著「奉仕の一世紀」に書かれています。

1905(明治38)年、ポール・ハリスが3人の友人を誘い初会合を持ったのは、ポール38歳の時、独身でした。彼の著書によると「日曜日の朝は教会に行くのが習慣であったが、午後になると、何とも耐え難いほど寂しかった。」と回想しています。

ポールはシカゴでは他所者であったので、とにかく心を許せる友達が欲しかったというのが出発

